

自己評価表 集計結果 (職員向け)

公表日： 令和4年4月1日
事業所名： 放課後等デイサービスASTEP

※ % (割合) 表示

		チェック項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	意見	意見に対する対策等
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100	0	0		
	2	職員の配置数は適切であるか	100	0	0	朝の会議で誰に対してどう支援していくか決めていく。	朝更も上回る員を配置しています。特性に応じた人員配置を引き続き行います。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の設備が適切になされているか	50	33	17	エレベーター無しは建物の2階にあるため、自力昇降が必要。事業所内に段差なし。	階梯の昇降については指導員が必ず補助（脇を抱える等）を行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	100	0	0	特性に応じた目標（3～5段階）を設定し、資料の協議で評価している。	指導員の個人目標でPDCAについて周知し、業務活動において活用しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	17	83	0	昨年開始のため、今年初めて実施	集計結果をホームページに掲載します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	33	17	50	おそくなくし、	現在のところ検討なし。事業規模拡大によっては検討を視野に入れていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100	0	0	コロナ禍であるため、対面での研修が難しい。オンラインでの研修等についての機会が増えたと感じている。	月に1回を標準として、月ごとにテーマを設定し1～2時間実施。研修会を行っています。（合同研修）
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100	0	0	利用本増加に際して、きめやかな支援計画の作成に努める。十分な職員会議を行うための時間を抽出する必要	利用本増加に伴い、個別支援計画が単独化とならないように努める。十分な職員会議を十分に確保し、議論していきたいと考えています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	83	17	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100	0	0	活動の主導者、補助者を区別している。	各セッション（製作・食育・LST・SST等）で区分し、セッションプランを作成しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100	0	0	時間的な特性を捉えながら様々な体験ができるよう準備している。	コロナ禍の特性上、室内活動が多い年となったが、室内活動のあり方・メニューを考へながら実践できたと考えています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	83	17	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100	0	0	集団活動を軸としているため、集団の比重が高い。イデオロギで計画的に個別活動を設定している。	個別支援計画に生活力の向上を見込んだ目標・結果を記述する項目を設定を検討しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100	0	0	朝の会議で担当から活動の詳細説明、安全事項を共有している。	活動の安全事項を事前に確認しています。安全管理事項については詳しく実施しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、実行した点等を共有しているか	83	17	0	就業時間との兼ね合いにより当日ではなく、翌日の朝の振り返りを行っている。	支援終了後毎日各指導員の子どもへの評価（療育日記の作成）を行い、支援翌日に指導員との共有を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100	0	0	日報（子どもひとりごと）をつき、効果的な療育ができる環境を整えている。	日報及び療育の証を日ごとに記録をとり、必要な情報を指導員がいつでも閲覧できるよう工夫しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100	0	0	頻度（半年に1回）実施している。	半年に1回のモニタリング、個別支援計画のアップデートを行っています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	67	33	0	ガイドラインを深く読み込んでいない。	ガイドラインの概要を理解するための研修機会を設定することをも検討しています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	100	0	0	児童発達支援管理責任者が出席し、児童指導員が出席する場合もある。	引き続き児童発達支援管理責任者が先導して出席し、関係機関における指導員も参加します。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子ども下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100	0	0	保護者への連絡帳を準備している。スピード感ある情報共有を確保している。	学校との情報共有はできる限り行っていますが、学校によっては送迎と対応することができない場合もあるため、保護者を通じて情報伝達を依頼するような場面も出ています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	83	17	医療的ケアが必要な子どもを利用しない。	医療的ケアが必要な子どもは利用できませんが、必要に応じ連携しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	67	33	0	特性等を考慮し必要に応じ実施している。	就学前に保育所（幼稚園）へ情報を提供したためでのアプローチを行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	33	67	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100	0	0	今のところ実施なし	虐待や児童虐待に問題を抱える方を対象として、情報共有できる体制を整えています。（実施あり）
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	50	33	17	タグラビーで地域の子どもと関わる機会はある。	タグラビーで地域の子どもと関わる機会を設定しています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	67	33	0	乙訓管内障がい児通所支援事業連絡会に加入し、月1回の研修に参加している。	引き続き、連絡会での研修を受講しながら療育支援の向上に努めてまいります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100	0	0	業務連絡のやり取りを活用し相互理解を図っている。親御さんとの対面できないこともありますが、家庭によって状況があるため課題点ではある。	療育日記、お送り状、モニタリング、LINE等を活用し、共通理解を促して支援してまいります。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	83	17	0	療育日記等で、行った活動に対して家庭での関わりを提案させていただくことを意識している。	事業所の関わりは一度であり、ご家庭での関わりが最も重要となる点について更に意識していただけるようお伝えしていきます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100	0	0	支援の内容については日々お送りしている療育日記、お送り状に情報共有している。	運営規程を掲載した様式が重要事項説明書であるという観点から対応できているが現状です。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100	0	0	相談に関しては電話やLINEを活用し対応している。スピード感を高めるための課題	業務の関わりが対応が疎かになることもあったため「相談を受けた時点から支援開始」の意識を高めよう指導してまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	17	83	・コロナ禍のため集まる場を設定することが難しい。 ・コロナ禍であるため集まる場を設定することが難しい。	現状は実施できず、情勢等を踏み実施を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100	0	0		
	34	定期的な会報等を行い、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100	0	0	HP、LINEでの共有を行っている。	引き続きLINE、ホームページで丁寧に情報を発信してまいります。
	35	個人情報に十分注意しているか	100	0	0	個人情報取扱いに関する保護者研修を実施している。	紙媒体の管理にあわせて、PCの管理についても徹底してまいります。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100	0	0	視覚支援、言葉遊びについて指導を受けている。	伝わる言葉、伝える力を身につけられるよう、指導員に対して日々指導を継続しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を回っているか	16	16	68	コロナ禍のため実施困難。補助的な活動等を実施している部分はありますが、情勢等を踏み必要とする必要はある。	現状は実施できず、情勢等を踏み実施を検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100	0	0	LINEで配信したのみで細かい説明は実施していない。	LINEを中心に様々な情報を発信できるよう努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100	0	0	年に2回、火災（火災、地震）を設定し訓練を実施している。	状況中での子どもの様子や様子を観察し、適切な行動が行えるための訓練を継続してまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	83	17	0	職員間での情報共有を行っている。今後は加えて研修機会を確保して欲しい。	職員間の連携、ネットワーク、虐待に起因する背景等、研修できず研修機会を設定して実施します。年1回必ず実施する方向で検討します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0	83	17	身体拘束についての概念を周知できていない。	上記に加えて研修機会を設けます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	50	50	0	現状。保護者からの情報のみで対応している。	医師からの指示書を受領したことがないため、保護者との連絡の上、適切に対応します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	67	33	0	ヒヤリハット事例集を作成しているが閲覧が難しい。	指導員に対してヒヤリハットの周知徹底に努めます。